

体験活動参加型(小学校)

学校名等	養老町立広幡小学校
実施日時	令和2年11月7日(土)
会場	広幡小学校校区(大跡・ロヶ島地域)
参加人数	全校児童(88名)・保護者
学習課題(分野)	「ふるさとオリエンテーリング」で広幡地域を大切に子どもに育てる～地域の史跡や歴史を学ぼう～(思いやり・社会のルール)
運営者の願い	元気なあいさつ・安全第一を合い言葉に、協力して「ふるさと広幡」を探検しながら、地域の史跡や歴史を知ってほしい。

学習の内容

<取組の全容>

- ・ 11月7日(土)学校行事『ふるさとオリエンテーリング』に27名の母親委員会メンバーが参加した。8つの縦割班に3～4名ずつ同行し、集団行動の様子を見たり、子どもたちの学習の成果を聞いたりすることができた。また、広幡地域について一緒に学ぶよい機会となった。
- ・ 交通安全の見守りやあいさつの見届けをはじめ、チェックポイントごとに発表する子どもたちの様子を確認し、感想とともに提出し、通信にした。
- ・ 一緒に地域を巡りながら、子どもたちと地域の歴史について見たり、聞いたりしたことを家庭に持ち帰り、通信を利用して話し合う機会とした。

<保護者の感想>

久しぶりに子どもたちの姿をみる事が出来てよかったです。毎年参加していますが、今年は班長さんもしっかりしていて、あいさつや話を聞く態度もとてもよかったですと思いました。

住み慣れた地域でも、道一本入るだけで神社やお寺があり、とても新鮮でした。

110番の家や、保育園跡など、初めて知る事もあり、楽しく参加することができました。

子どもたちが地域の人に元気よく挨拶したり、調べた事を一生懸命に発表したり、皆の意見をまとめたりとすごいと思う姿を見ることができてよかったです。

子どもたちの歩くペースの速さにビックリしました。高学年の子たちが低学年の子たちの面倒をよく見ていて感心しました。特に6年生の子は、班の子たちみんなの様子を見ていて、上手に声かけや指示を出す姿が見られてとてもよかったです。



「家庭教育学級便り」

<取組の成果>

- ・ 地域を子どもと一緒に巡る活動を行い、「ふるさと広幡」を知る機会となった。
- ・ 活動の中で、自然と会話が生まれ、家族で地域の歴史について一緒に話す時間が増えた。また、子どもの活躍を実際に見ることで、広幡の子どもたちの晴らしさに改めて気付くことができた。
- ・ 今年度は、コロナ禍で多くの活動が中止となったが、親子ストレッチ、ノーメディアウィーク、親子ケーキ作りなど、在宅での取組に変更して実施した。



母親委員会による 計画的で 積極的な活動

- ◎ 学校と協力しながら、計画を立て、今年度の活動について役員意識を高めた。
- ◎ 活動報告として、保護者や児童の活躍ぶりを写真や感想を盛り込みながら通信「家庭教育学級便り」を作成し、発行した。
- ◎ ともに地域をめぐりながら、安全を確保したり、発表を見届けたりしながら、子どもたちの頑張りをたたえることができた。



取組による プラスの効果

- ◎ 活動を見守り、一緒に取り組みながら子どもの頑張りを見届ける「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動の取組となった。
- ◎ 保護者も地域の新たな発見があり、学びながら一緒に活動できた。通信を読みながら、家庭でも一緒に話をする機会となった。